

# 田島保育園送迎バス 安全マニュアル

◎園バス1台につき、運転手以外に保育者1名以上が添乗する。

## 1 添乗保育者に向けたマニュアル

### ① 朝の業務内容

#### 乗車前

- 欠席や、その日バスを利用しない子どもを、事務室前ホワイトボードと早番職員に確認する。
- 携帯電話とバス用連絡ノート、バス乗車名簿、消毒用アルコールを準備し、携帯する。
- 運転手に欠席とその日利用しない子どもの連絡をする。
- 嘔吐等に備えた備品など、必要な備品が乗っているかどうかを確認する。
- チャイルドシートの固定、シートベルトの確認をする。
- 出発の5分前には乗車する。

#### 乗車時

- 乗り場へ到着後、必ず保育者が先にバスから降り、車や自転車、歩行者、不審者など周りの安全を確認する。
- 名前をしっかりと確認しながら、保護者と子どもにあいさつする。
- 保護者から預かる際に、子どもの健康状態を視診する。気になることがあれば保護者から聞き取り、バス用連絡ノートに記入する。
- 子どもの手を取り、安全に乗車させる。
- 座席は原則指定する。
- バス乗車名簿をチェックし、子どもの人数を確認する。
- チャイルドシートやシートベルトの着用等安全確認をする。
- 運転手に出発準備ができたことを伝える。
- 傘、布団、スキーウエア等の置き場所を決めて積み込む。
- コロナ対策として、窓は運転席のみ少し開けて換気ができるようにしておく。
- 周りの安全確認をしながらバス誘導をする。

#### 園到着時

- 子どもたちに順番に降りるまで、席を立たないように伝える。
- 乗降口付近の安全を確認してから、一人ずつ下車させ、バス乗車名簿をチェックして子どもの人数を確認する。
- 添乗保育者と運転手がそれぞれ、子どもたちが全員降車したことを確かめ、忘れ物がないか等、座席下を含めた車内を確認する。（ダブルチェック）
- ごみ等の処理をおこない、使った備品があれば補充する。
- 運転手は車内の清掃、消毒をおこない、帰りの乗車準備をおこなう。
- 保護者からの連絡事項があれば、担任に伝える。
- バス用連絡ノート、バス乗車名簿、アルコール消毒液を所定の場所に戻す。
- 園長（主任）に運行報告する。

## ② 夕方の業務内容

### 乗車前

- ・送りバスに乗る子どもを、事務室前ホワイトボードで確認する。
- ・保護者への連絡事項などを確認する。
- ・携帯電話とバス用連絡ノート、バス乗車名簿、消毒用アルコールを準備し、携帯する。
- ・運転手に欠席とその日利用しない子どもの連絡をする。
- ・嘔吐等に備えた備品など、必要な備品が乗っているかどうかを確認する。
- ・チャイルドシートの固定、シートベルトの確認をする。
- ・出発の5分前に添乗保育者が送りバスに乗る子どもを迎えに行く。

### 乗車時

- ・子どもの手を取り、安全に乗車させる。
- ・座席は原則指定する。
- ・バス乗車名簿を見て点呼、チェックし、子どもの人数を確認する。
- ・チャイルドシートやシートベルトの着用等安全確認をする。
- ・運転手に出発準備ができたことを伝える。
- ・傘、布団、スキーウエア等の置き場所を決めて積み込む。
- ・コロナ対策として、窓は運転席のみ少し開けて換気ができるようにしておく。
- ・周りの安全確認をしながらバス誘導をする。

### 乗車中

- ・車内で子どもたちが席を立ったり騒いだりしないよう注意する。
- ・降車場所が近づいてきたら、寝ている子がいれば起こし、降車の準備をする。
- ・10分以上の遅れが出た場合、状況を園に伝える。

### 降車時

- ・降車場所へ到着後、必ず保育者が先にバスから降り、車や自転車、歩行者、不審者など周りの安全を確認する。
- ・子どもの名前を確認しながら、一人ずつ下車させ、保護者の手に渡す。
- ・連絡事項があれば伝える。
- ・安全確認をしてバスに乗車する。
- ・降車予定の子どもを保護者に引き渡したことを名簿でチェックする。
- ・スライドドアの開閉は、原則添乗保育者がおこなう。

### 発車時

- ・車内の人数確認をする。
- ・次の降車場所に向けて発車する際、車内の子どもたちがきちんと座っているか等安全の確認をして運転手に出発準備ができたことを伝える。

### 帰園時

- ・添乗保育者と運転手がそれぞれ、子どもたちが全員降車したことを確かめ、忘れ物がないか等、車内を確認する。（ダブルチェック）
- ・ごみ等の処理をおこない、使った備品があれば補充する。
- ・保護者からの連絡事項があれば、事務室前ホワイトボードに書き、担任に伝える。
- ・バス用連絡ノート、バス乗車名簿、アルコール消毒液を所定の場所に戻す。
- ・園長（主任）に運行報告する。

## 2 運転手に向けたマニュアル

○安全第一、子どもの安全を守って送迎する。

### 出発前

- ・体調管理に努め、体温や体調に異常がないことを園に報告する。
- ・前夜のアルコール摂取による飲酒運転、酒気帯び運転の防止に努める。
- ・酒気帯びの有無について、状態を目視等で確認してもらう。
- ・アルコール検知器を用いて確認し、記録簿の記載する。
- ・出発前に、車内の消毒をおこない、車両点検をして車内外に異常がないことを確認する。
- ・ドライブレコーダー等の設備に異常がないか確認する。
- ・チャイルドシート、シートベルト等の確認をする。
- ・出発15分前には準備する。
- ・添乗保育者とともに、欠席とその日バスを利用しない子どもの確認と、ルートの確認をする。

### 発車時

- ・添乗保育者から子ども全員が乗車し、出発準備ができたことを確認し、周囲の安全に注意し、発車させる。

### 走行中

- ・法定速度を守り、信号を守り、交通ルールを遵守して走行する。
- ・ブレーキはゆっくりかける。
- ・交差点ではスピードを落として安全確認する。

### 帰園後

- ・車内に子どもが残っていないか確認する。
- ・窓の締め忘れや子どもの忘れ物がないか、座席の下を含む車内全体を点検し、整理整頓する。
- ・車内を清掃し、アルコール消毒などを使って消毒する。  
※ノロ・ロタ・インフルエンザなどの対策は、次亜塩素酸水を使う。
- ・車体の清掃をする。（ワックス等）
- ・タイヤ空気圧のチェックをする。
- ・記録簿に記入する。

### バス内に置いておくもの

嘔吐セット、次亜塩素酸水、マスク、ポリ手袋、体温計、ばんそうこう、はさみ、ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、ペーパータオル、バスタオル、タオル、熱さまシート、おむつ予備、ごみ袋、傘、ハエたたき

### バスの装備

ナビゲーション、ドライブレコーダー

## ★事故発生時の対応

- ①可能であれば安全な場所にバスを移動
- ②添乗保育者は子どもたちの状態を把握
- ③運転手は相手方の状態を把握
- ④119番及び110番通報
- ⑤救命措置が必要な場合は即座におこなう
- ⑥園へ状況報告。必要なら応援の職員を要請
- ⑦園は必要な措置を講じる
- ⑧家庭及び関係機関への連絡

## ★乗車場所（降車場所）に保護者と園児がない場合

- ①携帯電話で園に確認
- ②連絡がない場合は、バスから保護者に連絡
- ③連絡がつかない場合は次の場所もしくは園に向かう
- ④園に連絡

## ★子どもが急変（変調）時の対応

- ①安全な場所にバスを停車
- ②子どもの状態を把握
- ③必要に応じ救急搬送
- ④園へ状況報告。必要なら応援の職員を要請
- ⑤園は必要な措置を講じる
- ⑥家庭及び関係機関への連絡